水辺ウォーク

歴史と自然のまち唐崎を訪ねて

唐崎は、江戸時代には唐崎過書浜とよばれ、荷受問屋の蔵が建ち、人や物資を乗せた過書船が往来していました。

そして、淀川の氾濫から家具や米を守るための段蔵や芥川の川底を横断する番田大樋など水害対策がとられてきました。。

今回は先人の水との関わりを求め、水辺ウォークをします。

●日　　時　　平成２４年　６月　２４日（日）　１３：００　～１６：３０（雨天決行）

●集　　合　　唐崎公民館　　◇高槻市バス「唐崎西口」バス停下車徒歩１０分◇

◇京阪バス　　「唐崎」バス停下車すぐ　◇

●コ ー ス　　唐崎公民館（約１時間３０分の講演…歴史など）～過書浜跡～築堤碑・修堤碑

～樋門・札場跡・過書（寺本家）～段蔵～番田大樋　解散

●参 加 費　　無料

●対　　象　　一般市民　約４０名

●講師・案内　　郷土史研究家　　西阪　弘　氏

しろあと歴史館　学芸員　　西本　幸嗣　氏

高槻伝承民謡保存育成会 代表　愛宕　敏男　氏

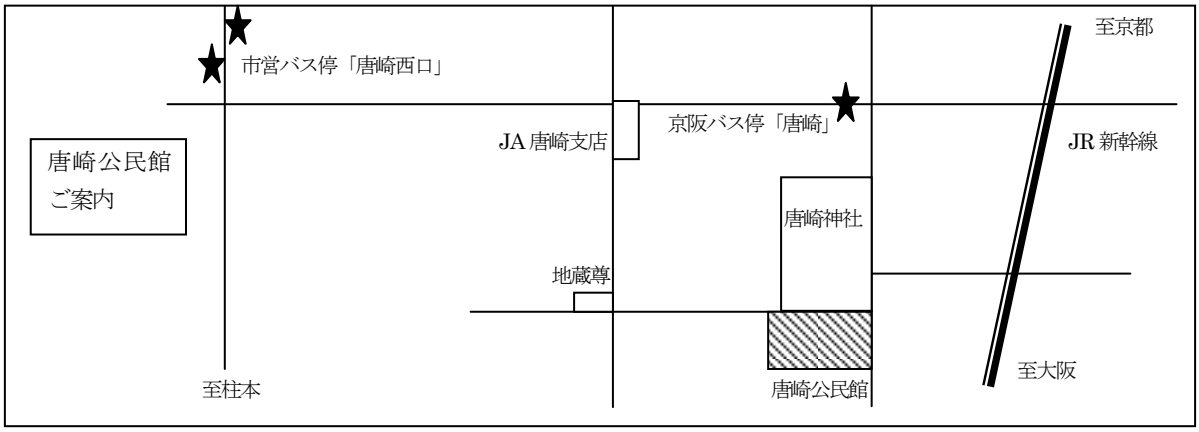
●申し込み　　住所、氏名、電話番号を明記の上、郵便ハガキでお申し込み下さい。

〒５６７－０８９２　　茨木市並木町７－１５

淀川管内河川レンジャー　吉川 正之（よしかわ まさゆき）

電話・ＦＡＸ　０７２（６３４）４６２４

●締め切り　　平成２４年　６月　１８日（月）



●主催　淀川管内河川レンジャー　吉川正之　　●後援　高槻市観光協会

●支援　国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所